

季刊 旬のブンカが集うコミュニティマガジン

2020 vol. 79
WINTER

ブンカ

BUNKA

Essay

エッセイスト 増永迪男氏

Interview

アートとサイエンスが出会う場所で
近藤 薫は発信し続ける

ヴァイオリニスト 近藤 薫氏

アートな人々

羊毛フェルト作家 小林清美氏



旬の文化が集うコミュニティマガジン

季刊

ブンカ

BUNKA vol.79 2020.12.15

発行/公益財団法人福井県文化振興事業団 福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」
〒918-8152 福井市今市町40-1-1 ☎076-388288 <https://www.hki.jp>



ハーモニーホールふくい

夕日の越前海岸

「開高健」北陸の味覚 王者の贅り」から」(越前町)

豪放磊落な男が愛した
日本海の荒磯と越前のカニ

没後30年たった今も熱烈なファンを持つ開高健は、作家、コピーライター、編集者、ルポライター、そして釣師など多くの顔を持っていました。生まれは大阪ですが、祖父父母と父は坂井市出身で、福井とはゆかりの深い人物です。

開高が越前町の旅館「こぼせ」を訪れたのは、1965年のこと。前年、新聞社の臨時特派員としてベトナム戦争の最前線取材し、200人中生き残ったのが17人という壮絶な体験をしていました。九死に一生を得た後に冬

の日本海のカニを食べ尽くし、「食」を通して「生」を実感していたのかもしれない。

エッセイ集「開口一番」に収められた「北陸の味覚 王者の贅り」では、日本海の蒸したての蟹を「繊細、精巧をきわめた、めざましく饒細かな作品」と称賛しています。豪快さと繊細さを併せ持つ男は、早くから芸術的な越前のカニの美味に気付いていたのでしよう。2020年は開高の生誕90年に当たり、イベントや新刊本なども発行されています。



開高 健「開口一番」(北陸の味覚 王者の贅り 収録)
1984年 新潮社刊



こぼせの先代が知恵を絞って開高に出した丼。ご飯の上にセイコノ身や卵をこれでもかと盛り上げてある。「開高丼」として、毎冬多くの人々が食べに訪れる



こぼせを気に入り十数回訪れている開高。館内には色紙などを展示したコーナーがある
冬の味覚の王者越前には、福井県で水揚げされたオスのズワイガニ。今年は11月6日が漁の解禁日だった



Contents

- 1 今号の表紙
- 2 Essay 越前の蟹の香りと芳醇な味「開口一番」開高 健 エッセイスト 増永迪男氏
- 3 Interview アートとサイエンスが出会う場所で近藤 薫は発信し続ける ヴァイオリニスト 近藤 薫氏
- 5 「ハーモニーホールふくい」自主公演情報
- 6 スペシャルインタビュー おおらかな心が奏でる みんなを幸せにする歌 ソプラノ歌手 吉田珠代氏
- 9 Information
- 10 2021年1~3月開催「ハーモニーホールふくい」コンサート情報
- 11 Interview アートな人々 羊毛フェルト作家 小林清美氏
- 12 福井の手しごと「三国提灯」(坂井市) / 逸品拝見「人道の港 敦賀ムゼウム」(敦賀市)
- 13 福井県内イベントカレンダー

読者のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、掲載している公演の開催日時や出演者などの情報は12月2日時点のものであり、予告なく変更される場合があります。詳しくは「ハーモニーホールふくい」の公式WEBサイト(https://www.hhf.jp)をご確認ください。

ESSAY

越前の蟹の香りと芳醇な味
「開口一番」開高 健

のちにノーベル賞作家となる大江健三郎と、芥川賞を争って第38回の受賞者となった開高健は、福井県にゆかりの深い作家だった。

祖父父母が、坂井市丸岡町一本田福所の出身だったことから、同地には大きな文学碑が建てられている。碑文は

「悠々として急げ」

まさに58歳で亡くなった開高にふさわしいものだ。巨大な岩に深く彫られた文字を見ていると、戦後の大阪の焼け跡から出発して、ベトナムの戦場、アマゾンの源流、シベリアの大川などと、世界の未開の地を駆け巡って、太く短く生きた生涯が思いだされてくる。

創作「輝ける闇」のラストでは、自身のベトナム戦場体験が、生々しく描かれる。ジャングルで敵に包囲され、四方

から撃たれる体験だ。作家はベトナム戦争を見にいった、サイゴンで知り合ったベトナム特派員の予言どおりに、戦争に巻き込まれる。ジャングル横断予定の、500人の政府軍と同行するうちに、辺りは突然、戦場となった。

「右、左、そして背後からいっせいに銃弾がとんできた。私は蘭草のなかに体を投げた。生温かい泥の匂いがヒツと顔を蔽った。兵たちは甲高い声をあげて蘭草のなかをこぼげまわった。(略)攻撃は一波、二波、三波と息つくひまもなかった。」

そしてつねに、開高は体験を語る作家であった。アマゾンの釣りをめぐる対談では、「釣った魚は、ほとんど刺身で食べてみたようですね」に答えて、次のように語る。

エッセイスト
ますなが みちお
増永迪男



出身地/1933年 福井市生まれ
著 書/福井の山150
夜明けの霧の山
日本海の見える山 など

「他に食べるものがない時は、大体食べてみるね。食べるものがある時は全部逃がしてやる。」

ピラニア、うまいですよ、刺身もよし、煮てもよし、焼いてもよし……」

答えのなかの「食べるものがある時は全部にがしてやる」は重要だ。自然への作家の基本姿勢がみえている。さらに「食」の記録については、「食べ物というものは、味覚でしょう。だから書きにくいもの。その周辺にあるもので攻めていって、ああまあそうだなという雰囲気を作っていくしかないの」とも語っている。

そこで念願の、ズワイガニ、セイコガニについて書くときは、家から書き始める。「荒波がドドドッと空をふるわせておしよせては碎ける者

にあつて、ちょっと表から見ただころでは旅館とも漁師の家ともわからないような家である(この旅館は建て替えられて、今は立派になつていられるけれど)。海の果物を食べるために私は都から逃げだしたはずだから、

「蟹を食べさせてよ」という。おばさんは「ハイ、ハイ」という。私は下品に、念入りに「蟹だけでいいんだよ。ね、ね。いい？」という。(略)

つきにおばさんがミシミンとあがってくる。古丸谷の巨大な皿いっぱい蒸したての北の海の蟹が湯気をたてて何匹も、何匹も、大山盛りになっているのである。部屋のなかで輝く。――
ああ、部屋はこの世の食の天国、みごとな蟹の景色の氾濫となる。



「悠々として急げ」の言葉が刻まれた碑(坂井市丸岡町一本田福所)

近藤 薫



3代続く音楽家の家系 そこから受け継いだものは

東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターを務める近藤薫さんは、プロフィールに「3世代に渡ってヴァイオリニストという音楽家の家系で育つ」と記しています。

「祖父の近藤富雄は、東京フィルの前身である、いとう呉服店少年音楽隊のコンサートマスターでした。太平洋戦争で従軍した時には、絶対音感があるので敵の飛行機のエンジン音と味方のエンジン音を聞き分けることができるため、見張り台に立たされたそうです。戦後は故郷である愛知県刈谷市で父と共に音楽教室を開き、また鈴木鎮一氏と一緒にスズキ・メソッドの創設に関わるなど、音楽教育に積極的に携わりました」

近藤さんは、3代目である自分は、西洋音楽という文化が日本に根付いた地点に立っているのだと感じているそうです。

「1代目である祖父は人生の半分を音楽家として過ごしました。2代目の父はそんな半分音楽家の人に育て

られた音楽家。そして3代目の僕は音楽家に育てられた音楽家で、やっとならぬがスタートという感覚です。3代も続けてこられたのは根本として、この日本が平和だったからだと想うのです。この中で継承されてきた文化を、僕が次の世代に繋いでいかなければならないという想いを噛み締めています」

現代社会の行く末を探る 先端アート研究にも携わる

東京フィルの前は九州交響楽団でコンサートマスターを務めていた近藤さん。そこで、クラシック音楽の魅力が根付かせるためには、街とオーケストラが一体となって発展していく必要性を感じたそうです。そのため様々なジャンルの人と話し合ううちに、東京大学先端科学技術研究センターでバリアフリーを研究する中邑賢龍先生と所長の神崎亮平先生に出会い、自身も先端アートデザイン分野の設置、研究に携わるようになり、来年4月開講予定の講座開設に奔走しています。

「これまで人間は、科学技術によって人間本位の世界を作ってきましたが、その結果、環境破壊など様々な問題が発生しています。人間は自然の一部であるというところに立ち戻る必要があるんじゃないか。そう考えた時、これまで科学が省みてこなかった、見えないもの、答えの出ないものの重要性がクローズアップされ

てきました。音楽は、見えないもの、答えの出ないものの代表です。そんな音楽を多くの人が愛し、この世界には音楽が必要だと考えている。だとすれば、音楽を社会の中でどう活かしていくのかを考えることが未来にとって非常に重要なのではないかと、これが、この研究の出発点です」

多くの芸術家は社会との接点についてあまり考えずに生きているが、それではいけない、と近藤さんは言います。

「コロナ禍でわかったのは、芸術に対するスタンスが国によって違うということです。これまでのように芸術家が社会に関心を持たないでいると、社会と芸術が分断される危険がある。21世紀の芸術家は、演奏活動だけでなく、目に見えないものの重要性をもっと積極的に発信していく

必要があると思います」

オペラから、初音ミクまで 東京フィルの魅力

オーケストラはしばしば、「社会の縮図」といわれます。近藤さんはそれを「複数の人間が協力してひとつのものをつくり出す」からだと言います。

「現代社会は、SNSによってすべての人が発信できる。人類総表現者時代を迎えています。一方で炎上や中傷など危険な面もあります。誰もがツールを持って表現する社会で、オーケストラは良い社会モデルになれるのではないかと想っています」

オーケストラの未来を見据える近藤さんが率いる東京フィルが、新年の福井に登場します。

「東京フィルはシンフォニー、オペラ、バレエ、映画音楽、ゲーム音楽など、およそこの世の中でオーケストラが必要とされるあらゆる音楽を演奏するオーケストラです。社会の様々な文脈の中で生まれてきた音楽に触れてきたことで、表現の引き出しが多いのが東京フィルの強みです。何しろ、オペラから、初音ミクまでカバーできるのは、日本では東京フィルだけです(笑)」

あらゆる音楽を経験しているからこそ生み出せる多彩な表現、それが東京フィルの魅力だという近藤さん。ニューイヤークンサートでは首席指揮者パティストーニのもと、その魅力を存分に表現してくれるに違いありません。

アートとサイエンスが出会う場所で 近藤 薫は発信し続ける



「これまで人間は、科学技術によって人間本位の世界を作ってきましたが、その結果、環境破壊など様々な問題が発生しています。人間は自然の一部であるというところに立ち戻る必要があるんじゃないか。そう考えた時、これまで科学が省みてこなかった、見えないもの、答えの出ないものの重要性がクローズアップされ



独立行政法人 東京都病院内「しらうめ」にて慰問演奏する、近藤 薫と<音楽のちから>メンバー

ヴァイオリニスト

こんどうかおる ●東京藝術大学をアカンサス賞を受賞して卒業後、同大学大学院修士課程修了。2015年から東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター。他に、フューチャー・オーケストラ・クラシックス、バンクーバー・メトロポリタン・オーケストラのコンサートマスター。長野市芸術館シーズンプログラム・プロデューサーとしてリヴァン弦楽四重奏団を主宰。東京大学先端科学技術研究センターでは先端アートデザイン分野の設置に尽力。現在、客員研究員としてアートの感性による新しい社会概念の構築を目指す。

2021.1/17(日)

協賛: FBC

ニューイヤークンサート2021 アンドレア・パティストーニ指揮
東京フィルハーモニー交響楽団 ソプラノ:吉田珠代

●大ホール/開場 14:15 開演 15:00
●S席:8,000円(売り切れ) A席:7,000円 車いす席:7,000円 (小・大学生:半額) 協賛:2割引
出演/指揮:アンドレア・パティストーニ、ソプラノ:吉田珠代 *
管絃楽:東京フィルハーモニー交響楽団
曲目/ドヴォルザーク:交響曲 第9番「新世界から」
J.シュトラウスII:喜歌劇「こらもり」as「チャールダーシュ」*
ブッチーニ:歌劇「蝶々夫人」as「ある晴れた日に」*

Go Toイベント
対象公演

助成:文化庁
※詳細はP.5へ



スペシャル・インタビュー

福井が生んだ世界的歌姫・吉田珠代がニューイヤーコンサート2021に出演！
歌手としての転機や、現在の心境について語っていただきました

吉田珠代

Tamayo Yoshida

おらかな心が奏でる
みんなを幸せにする歌

2021年のニューイヤーコンサートに登場するのは、福井が生んだ世界的歌姫(ティン・ツア)、吉田珠代さん。大輪の花が咲いたように華やかな笑顔の現在の吉田さんからは想像もできませんが、少女時代は「内向的で自分を表現するのが苦手だった」そうです。そんな吉田さんの転機は、イタリア留学時代にありました。「新国立劇場オペラ研修所の3年目にイタリアのボローニャに研修に行ったんです。眼に見えるものすべてが美しく、花の色まで違って見える。そんな環境の中に身を置いていくうちに、美しいものを見ては「わー、キレイ！」、美味しいものを食べれば「おいしーっ！」と自然に感情を表に出せるようになっていました。レストランで隣に座った人とおしゃべりをしたりして、心を

開くことの大切さも知りました」

その後2006年から文化庁新進芸術家留学生として再びボローニャに、続いて2008年からは公益財団法人ロームミュージックファンデーション特別研究生に選出され、ミュンヘンとウィーンで研鑽を積んだ吉田さん。2010年にはオーストリアのシュタイヤー音楽祭で「ドン・ジョヴァンニ」のドンナ・アンナを歌い大絶賛を浴びます。帰国後はサントリーホールや新国立劇場、サイトウ・キネン・フェスティバル松本など各地のオペラやコンサートなどで活躍されているのはご存知の通りです。

「幼稚園児の娘がいるので子育てで手一杯だったということもありますが、歌える時間が来たらまた歌うんだろうと想っているのんびり構えています」

なんともおらかな吉田さんですが、それが彼女の魅力。彼女の歌を聴くと幸せな気持ちになれるのも、このおらかなさが音楽の根底にあるからでしょう。ニューイヤーコンサートでは十八番であるヨハン・シュトラウスⅡの喜歌劇「こもり」から「チャールダーシユ」やブッチーニの歌劇「蝶々夫人」の名アリア「ある晴れた日」など、イタリア人マエストロ、パッティストーニとの共演が今から楽しみです。

まだまだ歌いたい曲がたくさんあるという吉田さん。「年月を重ねた人間性に裏打ちされた表現を目指したい」という彼女の今後の活動から目が離せません。



ソプラノ：吉田珠代



指揮：アンドレア・パッティストーニ

2021.1/17(日)

協賛：FBC

ニューイヤーコンサート2021
アンドレア・パッティストーニ指揮
東京フィルハーモニー交響楽団
ソプラノ：吉田珠代

●大ホール
●開場/14:15 開演/15:00
●S席:8,000円(売り切れ) A席:7,000円
車いす席:7,000円
小〜大学生:半額 **協友2割引** **Go Toイベント**
対象公演

指揮：アンドレア・パッティストーニ
ソプラノ：吉田珠代*
管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団
曲：ドヴォルザーク：交響曲 第9番「新世界から」
J.シュトラウスⅡ：喜歌劇「こもり」から「チャールダーシユ」*
ブッチーニ：歌劇「蝶々夫人」から「ある晴れた日」*
助成：文化庁



1年の幕開けは
歌心いっぱいの音楽で！

1年の初めを音楽で彩るニューイヤーコンサート。2021年のハーモニーホールふくいは、クラシック音楽界で、今、大注目を集めるアーティストたちによる、例年とはひと味違うプログラムでみなさまをお迎えします。

オペラにコンサートにと世界的に活躍する指揮者アンドレア・パッティストーニは、「歌の国」イタリア出身。福井出身のソプラノ吉田珠代とともにお届けするのは、新年に相応しい「ウィーン」ものと、めくるめくオペラのシーンで歌われるアリアです。ヨハン・シュトラウスⅡの喜歌劇「こもり」は、ウィーンを舞台に大人の洒落た恋愛劇が繰り広げられる作品で、ウィーン・ワルツのメロディがたっぷり登場します。その「こもり」からは、劇中の音楽を組み合わせた印象深い序曲と、ハンガリー風の哀愁漂うメロディによって綴られる「チャールダーシユ」を吉田が歌います。吉田は他に、

が書いた歌劇「ルサルカ」から、主人公ルサルカが歌う抒情的なアリア「月に寄せる歌」と、日本の長崎を舞台にしたブッチーニの歌劇「蝶々夫人」から名アリア「ある晴れた日」を披露。世界が認めた歌姫(ティン・ツア)である吉田珠代の華麗でドラマティックな歌声に存分に酔いしれてください。プログラムは他に、マスカーニの歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」からの間奏曲が予定されています。オーケストラによって奏でられる音楽は、新年の幕開けにふさわしく格調の高さと静謐な美しさにあふれています。

オーケストラは、パッティストーニが首席指揮者を務める東京フィルハーモニー交響楽団。両者の関係は2021年で6年目を迎えますが、これまでになかったレパートリーに挑戦するなど、その刺激的なパフォーマンスは、今、日本でもっとも注目されていると言っても過言ではありません。プログラムの後半は、そんなコンビによるドヴォルザークの交響曲第9番「新世界から」をお贈りします。ドヴォルザーク



管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

が故郷チェコを離れアメリカに滞在している時に書いたこの曲は、マエストロ曰く「故郷への想い、新世界アメリカへの想いがあふれたドラマティックな音楽」。歌心を自在に操るマエストロとそれに応える東京フィルが紡ぎ出す、多彩で情熱的な響きは、新しい年のスタートにふさわしい感動と興奮をもたらしてくれることでしょう。

この公演は 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)独立行政法人日本芸術文化振興会の助成を受けています。

フレンドリーアート号(福井地域からの無料送迎バス)のお申し込みは、福井県文化課 TEL.0776-20-0582まで。

和装でご来場になったお客様には、500円割引券を進呈します。詳細は、(公財)福井県文化振興事業団 TEL.0776-38-8288(9:00~19:00)まで、お問い合わせください。



令和2年度 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー受講生



指揮：清水麗輝

去年の雪辱を！と
気合十分のジュニアたち

ハローモニホールふくいでは、福井県内の小学生から大学生までを対象にした「福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー」を2006年から開講しています。2014年から初級向けの「プルジョン（つばみコース）」と中級向けの「アーブル（樹）コース」の2コースを

2021.3/20(土・祝)

協賛：福井ケーブルテレビ株式会社
さかいケーブルテレビ株式会社



ジュニアが輝く！
“音楽の森”コンサート2021

- 小ホール
- 開場/14:15 開演/15:00
- 全席自由:500円
3歳~高校生・車いす席:100円

指揮：清水麗輝
令和2年度 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー受講生

曲：モーツァルト：ディヴェルティメント K.136
ヴィヴァルディ：「調和の靈感」第11番 op.3-11
チャイコフスキー：弦楽セレナーデ
パッヘルベル：カノンとジグ
モーツァルト：「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」第5「メヌエット」

助成：文化庁

設け、毎年多くの受講生が弦楽アンサンブルの豊かな世界を楽しく学んできました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大のため、2019年7月に開講したセミナーは途中で中止になり、セミナーの最終成果を発表する機会である「ジュニアが輝く！音楽の森」コンサートも開催できませんでした。

そこで今年は、昨年の練習曲であるチャイコフスキーの「弦楽セレナーデ」に引き続き取り組むことになりました。2018年から指揮者としてお招きしている清水麗輝さんが受講生たちの力をどんどん引き出し、文字通り「輝く」ジュニアを育ててくれています。

毎回のセミナーで切磋琢磨している受講生たちが心待ちにしているコンサートの開催は春分の日。早春のひととき、あふれる若さが紡ぎ出す音楽にひたってみてはいかがでしょうか。



平成30年度 福井県新人演奏会から

コロナ禍を超えて
羽ばたく新しい才能

長きにわたり手がけてきた育成事業のひとつ、「福井県新人演奏会」。

2021.3/21(日)

協賛：(公財)けんでんふれあい福井財団



福井県新人演奏会
2021

- 小ホール
- 開場/13:15 開演/14:00
- 全席自由:500円 [学生・車いす席割引なし]

曲：オーディション合格者
(ピアノ、器楽・作曲、声楽の各部門)

助成：文化庁

新人演奏会」。福井県在住、または出身の新人演奏家の登竜門として、1977年から開催してきました。演奏会の出演者はすべて、一般公開のオーディションによって選抜。今年も満18歳から30歳までを対象にオーディションが行われます。

2020年はコロナ禍のために世界中でコンクールやオーディションが中止になりました。そんな中、一生懸命自らの音楽を練り上げてきた若者たちが全力で取り組むこの演奏会。オーディションからご覧になって、次代の音楽界に羽ばたく新星を見つけてください。



左から、井上陽介、大儀見元、東儀秀樹、古澤 巖、塩谷 哲、小沼ようすけ

9/17(土) ▶ 12/24(木) 開催延期

協賛：福井信用金庫

Six Unlimited
コンサートツアー2020
～オールスターズの企て～

- 2回公演/大ホール
- ①開場/14:15 開演/15:00
- ②開場/18:15 開演/19:00
- 全席:6,000円(売り切れ) 車いす席:4,800円
小~大学生:半額

出：雅楽器：東儀秀樹
ヴァイオリン：古澤 巖
ピアノ：塩谷 哲
ギター：小沼ようすけ
パーカッション：大儀見 元
ベース：井上陽介



Unlimitedな6人が贈る
上質な大人の音楽空間

Six Unlimitedは、クラシック音楽、雅楽、ジャズなど異なるバックボーンを持つ6人のアーティストが集結したユニット。メンバーはいずれも、世界的に活躍する各ジャンルの第一人者たちです。

中心となつているのは、クラシック・クロスオーヴァーの元祖ともいえるヴァイオリニストの古澤 巖と、雅楽師でありながらジャズや映画音楽など様々なジャンルの音楽にも挑戦し続けている東儀秀樹のふたり。そこに今回、ソロ・ピアニストとして、また作曲家としても多くのアーティスト

とコラボレーションを続ける塩谷 哲、日本のジャズ・シーンを牽引する天才ギタリスト小沼ようすけ、国内外のアーティストから絶大な信頼を寄せられているトップ・ベーシストの井上陽介、オルケスタ・アラ・ルスを創り上げたパーカッションの大儀見元の4人が加わりました。

時代を彩る様々なナンバーが6人の感性によってこれまで聴いたこともないような、全く新しい音楽へと生まれ変わります。ストイックに、時に大胆に自らの音楽を追求してきた6人だからこそ生み出せる「上質な大人のエンタテインメント」を堪能してみたいかがでしようか。

公演は昼夜2回。それぞれ密を避けるため客席は1席あけてご着席いただきます。プロローグからフィナーレまで、息もつかせぬ濃密な時間をお約束します。大切な方と一緒に、仲の良いお友だち同士で、クリスマス・イヴはムード満点のハローモニホールふくいでお過ごしください。

4/12(日) ▶ 2021.2/2(火) 開催延期

協賛：FUKUVI リフォーム株式会社 アリス伝

平原綾香 with
オーケストラ・アンサンブル金沢

- 大ホール
- 開場/18:15 開演/19:00
- 全席指定:8,000円 車いす席:6,400円
小~大学生:半額

出：指揮・編曲：渡辺俊幸
ヴォーカル：平原綾香
管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢

曲：おひさま～大切なあなたへ
明日
Jupiter
シェヘラザード ほか

(共催：FBC)

その声心が心をつなぐ
今だからこそ聴きたい曲

シンガーソングライターとして、近年はミュージカルや映画の主題歌を担当するなど活動の幅を広げている平原綾香がオーケストラ・アンサンブル金沢と共演するコンサートが迫ってきました。

コロナ禍によって、人と人とのつながりの大切さを改めて実感している人が増えていいます。ともに同じ時間を過ごすコンサートにそうしたつながりを感じるといってもいい。平原綾香の歌からは、いつも人の心を癒し、元気づける力を感じます。こんな時期だからこそ、ハローモニホールふくいでも聴く彼女の歌声が、より一層心に沁み透るに違いありません。指揮と編曲にはボビユラーとクラシック音楽両方で活躍する渡辺俊幸を迎え、音楽で心がひとつになる、そんなコンサートをお届けします。



指揮・編曲：渡辺俊幸



ヴォーカル：平原綾香



管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢

おひさま～大切なあなたへ
明日
Jupiter
シェヘラザード ほか

2021.2/21(日) 公開オーディション

～3つの特色あるオーディションを開催～

福井県新人演奏会2021 出演者オーディション

2021年3月21日(日)開催「福井県新人演奏会2021」の出演者を選考【対象：2020年4月2日時点の満年齢が18～30歳】

若い芽コンサート2021 出演者オーディション

2021年8月11日(水)開催「若い芽コンサート2021」の出演者を選考【対象：2021年4月時点で中学生～高校生】

越のルビーアーティストバンク 登録オーディション

福井県文化振興事業団が主宰する「越のルビーアーティストバンク」への登録を認定【対象：2021年4月1日時点で満20歳以上】

日 時 / 2021年2月21日(日)

会 場 / ハーモニーホールふくい 小ホール

審 査 員 / ◆ピアノ部門：榎木繁夫、堀江真理子 ◆声楽部門：佐橋美起、末吉利行

◆器楽・作曲部門：アンサンブル・ノマド から3人

申込締切 / 2021年1月20日(水) 必着



各種
募集要項は
こちらから

エキシビジョン・ステージ

公開オーディションの審査集計の時間を利用して実施される「エキシビジョン・ステージ」には、今年も「アンサンブル・ノマド」のメンバーが登場します。

「NOMADO(遊牧、漂流)」の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在にとり上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムで独自の世界を表現する「アンサンブル・ノマド」。今回はメンバーの中から6人が福井入りし、審査とエキシビジョン演奏を3人ずつで行います。このうち、ソプラノの吉川真澄は、以前、大ホールにて披露してくれた「日本語歌詞の美しさ」が印象的な歌手です。今回はどのような曲を聴かせてくれるのでしょうか。

入場は無料。公開オーディションと合わせて、ユニークな楽器編成によるアンサンブルを楽しまれてはいかがでしょうか。

「アンサンブル・ノマド」による演奏とお話し

日 時 / 2021年2月21日(日) 16:00～16:40(予定)

会 場 / ハーモニーホールふくい 小ホール

出 演 者 / アンサンブル・ノマド から3人

入場料 / 入場無料(事前申込み不要)

お問い合わせ 福井県新人演奏会事務局 [(公財)福井県文化振興事業団内] TEL.0776-38-8280(9:00～19:00)



花田和加子
(ヴァイオリン)



木ノ脇道元
(フルート)



菊地秀夫
(クラリネット)



今込 治
(トロンボーン)



宮本典子
(打楽器)



吉川真澄
(ソプラノ)
※エキシビジョン出演



後藤 愛和さん(福井市)

悲嘆な世界の中に、希望の光を感じました。最後のピアノ3台によるコラボは初めてで、ホール中に濃厚な音が溢れていて素敵でした。



左から/馬嶋 心々さん
馬嶋 秀さん(福井市)

「月光」の第3楽章が好きです。激しい曲調と綺麗なメロディの両方とも楽しめました。表現方法が、弾く時の参考になりました。

ベートーヴェン生誕250周年記念シリーズII 私のベートーヴェン「悲愴」「月光」「熱情」

2020年10月24日(土)、25日(日) 開催

カーテンコール

●感染対策が徹底されているので安心して鑑賞できます。いつもありがたうございます。
●コンサートが開かれる事でやはり嬉しい気持ちです。皆で意気投合ができると思います。
●福井出身のアーティストがとても素敵に頑張っておられると思いました。
●ベートーヴェン生誕250年をこのようなピアノプログラムで分かち合え、感激しました。出演者のお三方に感謝します。ありがとうございます。
(50代/男性)



越のルビーアーティスト3人それぞれが、ベートーヴェンのピアノソナタを熱演。アンコールの3台ピアノでは、初共演とは思えない、息のあった音楽を繰り広げました。

ハーモニーホールふくい コンサート情報 2021.1.2.3

※部は、当ホールの自主公演でP.3～P.8に見どころなどが紹介されています。
(2/21、3/20、3/21の公演を除き、小学生から大学生まで半額)
※掲載内容は都合により変更される場合がありますので、予めご了承ください。(12/2時点の情報です)
※チケットに関するお問い合わせは、各主催者までお願いします。

2月

23 “響き・あい”受賞者演奏会
(火・祝)
●小ホール
●14:30開演
●全席自由1,000円
◎“響き・あい”事務局
☎0776-24-7245

27 フリージアコンサート
(土)
●小ホール
●10:00開演
●無料(関係者のみ)
◎フリージア 山根 ☎0778-47-2167

28 男声合唱団ダンネリオン
演奏会2020
(日)
●大ホール
●14:00開演
●全席自由500円
◎男声合唱団ダンネリオン 小林
☎090-2125-5080

第20回
ピアノ・フルート発表会
(日)
●小ホール
●10:30開演
●無料(関係者のみ)
◎杉石川 ☎090-2037-3283

2 4/12鑑賞公演
(火)
●大ホール
●19:00開演
●全席指定8,000円 車いす席6,400円
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

7 第44回
北陸アンサンブルコンテスト
(日)
●大ホール
●9:00開演
●全席自由 前売券1,000円 当日券1,300円
◎北陸高等学校 明石
☎0776-23-0321

11 スマイルコンサート
(木・祝)
●小ホール
●10:00開演
●無料(関係者のみ)
◎特別開演楽器 福井営業所
☎0776-52-3060

13 高嶋ちさ子
12人のヴァイオリニスト
コンサートツアー 2020～2021
(土)
●大ホール
●14:30開演
●全席指定/ステージサイド席8,050円
ステージバック席6,050円
◎キョードー北陸チケットセンター
☎025-245-6100

21 「福井県新人演奏会2021」
「若い芽コンサート2021」
「越のルビーアーティストバンク」
公開オーディション&エキシビジョン・ステージ
(日)
●小ホール
●10:00開始予定
●無料(整理券不要)
◎「公財」福井県文化振興事業団
☎0776-38-8280

1月

10 スマイルコンサート
(日)
●小ホール
●10:00開演
●無料(関係者のみ)
◎特別開演楽器 福井営業所
☎0776-52-3060

17 ニューイヤーコンサート2021
アンドレア・パッティストーニ指揮
東京フィルハーモニー交響楽団
ソプラノ:吉田珠代
(日)
●大ホール
●15:00開演
●前売券6,000円(売り切れ)
A席:7,000円 車いす席7,000円
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

23 第54回 福井県吹奏楽
アンサンブルコンテスト
(土)
●大ホール
●無観客開催
◎福井市武生第二中学校 高本
☎0776-23-1422

2021 カワイうたのコンクール
2021 カワイピアノコンクール
(日)
●小ホール
●10:20開始
●無料(関係者のみ)
◎福井河合楽器製作所 福井店
☎0776-23-6327

24 2021 カワイこどもコンクール
(日)
●小ホール
●10:20開始
●無料(関係者のみ)
◎福井河合楽器製作所 福井店
☎0776-23-6327

20 ジュニアが輝く!
“音楽の森”コンサート 2021
(土・祝)
●小ホール
●15:00開演
●全席自由500円
3歳～高校生車いす席100円
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

21 福井県新人演奏会 2021
(日)
●小ホール
●14:00開演
●全席自由500円
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

26 愛と情熱のファンタスティックオペラ vol.2
—愛と犠牲 友情と戦い—
(金)
●小ホール
●19:00開演
●一般2,000円 高校生以下1,000円
◎愛と情熱のファンタスティックオペラの会 東
☎080-3836-2570

27 ヤマハ音楽教室 発表会
(土)
●大ホール
●10:00開演
●無料(関係者のみ)
◎特別開演楽器 福井営業所
☎0776-52-3060

Music Fun!!
(日)
●小ホール
●9:40開演
●無料(関係者のみ)
◎Music Fun!! 藤田
☎090-4320-9853

ピアノ発表会
(日)
●小ホール
●14:30開演 / 17:00開演
●無料(関係者のみ)
◎特別開演楽器 福井営業所
☎090-9763-8264

28 ヤマハ音楽教室 発表会
(日)
●大ホール
●10:00開演
●無料(関係者のみ)
◎特別開演楽器 福井営業所
☎0776-52-3060

和太鼓コンサート 道
(日)
●小ホール
●13:00開演
●全席自由1,000円
◎和太鼓楽団 北の庄 北嶋
☎0776-27-4011

31 コンサート × おしばい
「ベートーヴェン物語」
(水)
●小ホール
●19:30開演
●全席自由3,800円
◎「一社」みむむの森 芸術文化振興グループ
☎070-6479-7294

上記以外は、中止が決定しています。詳しくは、各2次元コードからご確認ください。
開催予定のコンサートの最新情報もご覧いただけます。

1月の情報



2月の情報



3月の情報



小林清美 羊毛フェルト作家 福井市

楽しみ上手が作る 艶やかでカラフルな世界

小林清美プロフィール

福井市生まれ、東京の女子美術大学工芸科で染色を学ぶ。大学卒業後福井に戻り、高校の講師として2018年61歳までデザインを教えながら、『Atelierクナッペン』を構え、作家として活動。『日本クラフト展』への出品をはじめ、越前市の「ゲッコウカフェ」にて3～4年に1回のペースで、羊毛フェルト作品展「はたらくもの羊たち」を開く。



色とりどりのフェルトに、古布や針金、糸などを組み合わせた、温もり溢れる作品たち。「祖母も母も洋裁が得意で、私の洋服はいつも手作り。羊の原毛から紡いだ糸で編んでくれたカーディガンは、今も愛用しています」
実家周辺の豊かな自然と身近にあふれる手仕事の温もりが、感性の土台を作ってくれたと小林さん。大学では染色と織物を学び、卒業後は高校でデザインを教える傍ら作家として草木染で袖を織っていました。当時すでに着物は

「よそ行き」。「もっと日常に寄り添うものが作りたい」という想いがありました。
1980年代、女の子たちの間で流行っていたのは、手芸やフェルト。DCブランド全盛期でもあり「軽くてシワにならない羊毛フェルトでファッション小物を作ってみよう」と小林さんは思いつきました。
結婚し、子育てと学校講師の仕事しながら制作を開始。40代はフェルトづくり発祥の地といわれるモンゴルで遊牧民の暮らしに密着して伝統技術にふれ、50代にはバルト海に浮かぶゴットランド島で色使いなどを学びました。
そんな小林さんは、暮らしの中に「楽しい！」を見つけるのが得意。庭いじりも好きで、草花はアート作品のひとつ。これらはすべて、創作の原動力となっています。
「草むしりをしながら『いい色！』今度のストールはこれ！と」
日々のワクワクが小林さんの

センスで磨かれ、作品に凝縮されています。
他にはない色使いや素材合わせ、フォルムの面白さなどで着実にファンを増やしてきましたが、作風に迷いを感じる時期もあったそう。
「そんな時、越前市のカフェからのお声かけで、初めて個展を開いたんです。楽しそうに試着する姿や生の声に刺激を受けて、モヤモヤなんて吹き飛びましたね」
昨年秋の個展が大盛況に終わったことを機に、この1年は3人のお孫さんの面倒を見ながら楽しい充電期間を過ごしています。

「孫たちとの時間は気づきや発見の連続。木の実や枝などフェルトと一緒にプローチを作ったり、洋服を作ったり」
祖母や母のように、今度は自分が孫たちにもものづくりの楽しさを伝えたいと小林さん。幼い感性に刺激を受けながら、次の個展に向けて少しずつ作品を作っています。

■Atelierクナッペン
住所/福井市福1-805
TEL/090-6816-0535



2019年11月に開いた越前市「ゲッコウカフェ」での個展。作品そのものに加え、ディスプレイなど「癒せが」にもこだわっている



専用のニードル針でちくちく刺して、縫製を縫って固めながら、好きな形に加工。石鹸や水のアルカリで、手で羊毛同士や異素材などを縫って作る手法も



帽子やストールなどのファッション小物から、コースターやペーパーウェイトなど暮らしを彩る生活小物まで。ハットとするようなカラーや素材合わせが新鮮

福井の手しごと

三国提灯 坂井市

枠組みから天日干しまで すべての工程を手作業で



好きな作業は「絵付け」という小島さん。破れた提灯の絵の復元には、高度な技術が必要になる



修業を始めて12年で、父親も認める腕前。作業はそれぞれに行っているが、長い竹ひごを切る時などは2人で協力

店先には風情ある提灯が、三国提灯は福井県の郷土工芸品に指定されている



三国提灯 いとや工房
住所/坂井市三国町南本町2-3-29
TEL/0776-81-3574

「祭礼の場に欠かせない」提灯。いとや工房は提灯作りを一貫して行う、県内では希少な店です。大正生まれの初代が始めた三国提灯を2代目の畑峰雄さんが継ぎ、現在は娘の小島まりやさんも職人として修業を積んでいます。
提灯の製作は、木枠を組み、竹ひごをかけて和紙を貼り絵付けをするまで、すべて手作

業。屋外用は、さらに油を塗る。天日で乾かします。
提灯は需要はあるものの取入面の厳しさから後継者が少なく、全体として供給が追いつかないのだそう。小島さんは「提灯職人が仕事として成り立つ仕組みを作りたい」と言い、体験教室の開催や、仏・老舗デパートの装飾用提灯などアートの分野にも挑戦しています。

逸品拝見

人道の港 敦賀ムゼウム 敦賀市

孤児と難民の命をつないだ 敦賀港に残された品々

ヨーロッパとの交通の拠点であった敦賀港には、1920年代にポーランド孤児、40年代には杉原千畝の「命のビザ」を携えたユダヤ難民が上陸しています。この歴史を伝える「人道の港 敦賀ムゼウム」が11月3日、大幅にリニューアルして移転開館しました。

ランド孤児が残した日記やユダヤ難民輸送に尽力したジャパン・ツーリスト・ビューロー(現JTB)の大道アルバムなど歴史を語る品々が展示されています。中でもユダヤ難民が換金のため持ち込んだ腕時計は、戦災を奇跡的に逃れた歴史の物証。命と平和の大切さを伝える象徴として、大切に受け継がれています。



1945年の空襲でユダヤ人が残した貴金属は焼失したが、この時計は時計店の娘さんが持っていたため無事だった。ベルトは換えられているが、時計部分は現物



15歳で敦賀に上陸したポーランド孤児、ヴェロニカ・ブコビンスカさんの日記。日本でもらったこのノートに、当時の出来事を書き記した



建物外観は、敗戦国鉄連絡列車が運行していた当時の建物を復元



住所/敦賀市金ヶ崎23-1
電話/0770-37-1035
開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日/水曜、12/30~1/2
入館料/大人500円、小学生以下300円

◎県・市町公立施設から情報提供のあった催し物、および当財団名義後援の催し物を掲載しています。(20.11月～21.3月に開催予定分/12月2日時点の情報です)◎催し物に関するお問い合わせは、各主催者までお願いします。

<p>2/28(日) 福井市立桜木図書館 おはなし室 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●14:00～14:30 ●無料(先着9名) 福井市立桜木図書館 ☎0776-20-1530</p> <p>3/6(土)、3/13(土) 3/20(土・祝)、3/27(土) 福井市立図書館 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●15:00～15:30 ●無料 福井市立図書館 ☎0776-20-5000</p> <p>3/6(土)～3/10(水) 鯖江市まなべの館 展示ホール1・2、鯖江市歴史会館 第13回鯖江市美術展 ●10:00～17:00(最終日は15:00まで) ●無料 鯖江市まなべの館 ☎0778-51-5999</p> <p>3/7(日) 県立図書館 多目的ホール 風花随筆文学賞授賞式記念 出久根達郎氏講演会 ●14:00～15:30 ●無料 福井県ふるさと文学館 ☎0776-33-8866</p> <p>3/7(日) 福井市立図書館 第2回福井市こどもの本大賞発表会 ●10:30～11:00 ●無料 福井市立図書館 ☎0776-20-5000</p> <p>3/7(日)、3/14(日) 3/21(日)、3/28(日) 福井市立桜木図書館 おはなし室 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●14:00～14:30 ●無料(先着9名) 福井市立桜木図書館 ☎0776-20-1530</p> <p>3/23(火) 福井市立図書館 みそ屋大賞2021 in Library ●18:30～19:30 ●無料 福井市立図書館 ☎0776-20-5000</p> <p>3/28(日) 福井市立図書館 あそびとえほん ●15:00～15:30 ●無料 福井市立図書館 ☎0776-20-5000</p>	<p>2/7(日) 福井市立桜木図書館 おはなし室 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●14:00～14:30 ●無料(先着9名) 福井市立桜木図書館 ☎0776-20-1530</p> <p>2/13(土)～3/21(日) 福井県ふるさと文学館 特集展示 全国文学館協議会 「3.11文学館からのメッセージ」 ～東日本大震災から10年、 福井地震から72年、震災を見つめる～ ●平日/9:00～19:00、土・日・祝/9:00～18:00 ●無料 福井県ふるさと文学館 ☎0776-33-8866</p> <p>2/13(土) 福井市立図書館 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●15:00～15:30 ●無料 福井市立図書館 ☎0776-20-5000</p> <p>2/14(日) 福井市立桜木図書館 おはなし室 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●14:00～14:30 ●無料(先着9名) 福井市立桜木図書館 ☎0776-20-1530</p> <p>2/20(土) 県立図書館 多目的ホール 松尾佑一氏文学講座 ●14:00～15:30 ●無料 福井県ふるさと文学館 ☎0776-33-8866</p> <p>2/20(土) 福井市立図書館 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●15:00～15:30 ●無料 福井市立図書館 ☎0776-20-5000</p> <p>2/21(日) 福井市立桜木図書館 おはなし室 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●14:00～14:30 ●無料(先着9名) 福井市立桜木図書館 ☎0776-20-1530</p> <p>2/27(土) 福井市立図書館 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●15:00～15:30 ●無料 福井市立図書館 ☎0776-20-5000</p> <p>2/28(日) 福井市立図書館 あそびとえほん ●15:00～15:30 ●無料 福井市立図書館 ☎0776-20-5000</p>	<p>1/24(日) 福井市立図書館 あそびとえほん ●15:00～15:30 ●無料 福井市立図書館 ☎0776-20-5000</p> <p>1/24(日) 福井市立桜木図書館 おはなし室 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●14:00～14:30 ●無料(先着9名) 福井市立桜木図書館 ☎0776-20-1530</p> <p>1/26(火)～3/24(水) 福井県ふるさと文学館 特集展示 冬の味わい ●平日/9:00～19:00 土・日・祝/9:00～18:00 ●無料 福井県ふるさと文学館 ☎0776-33-8866</p> <p>1/29(金)～1/31(日) 鯖江市まなべの館 展示ホール1・2 令和2年度 福井県立丹南高等学校 卒業制作展 ●9:00～17:00(最終日は16:00まで) ●無料 鯖江市まなべの館 ☎0778-51-5999</p> <p>1/30(土) 福井市立図書館 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●15:00～15:30 ●無料 福井市立図書館 ☎0776-20-5000</p> <p>1/31(日) 福井市立桜木図書館 おはなし室 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●14:00～14:30 ●無料(先着9名) 福井市立桜木図書館 ☎0776-20-1530</p> <p>2/6(土) 福井市立図書館 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●15:00～15:30 ●無料 福井市立図書館 ☎0776-20-5000</p> <p>2/7(日) 県立図書館 多目的ホール 大本泉氏文学講座 あそびとえほん ●14:00～15:30 ●無料 福井県ふるさと文学館 ☎0776-33-8866</p>	<p>その他 and Others</p> <p>開催中～1/24(日) 福井県ふるさと文学館 秋季企画展 石川九揚の世界 ～書という文学への旅～ ●平日/9:00～19:00、土・日・祝/9:00～18:00 ●無料 福井県ふるさと文学館 ☎0776-33-8866</p> <p>1/9(土)、2/13(土)、3/13(土) 福井市立図書館 ストーリーテリングで ハッピーバースデー ●11:00～11:30 ●無料 福井市立図書館 ☎0776-20-5000</p> <p>1/9(土) 福井市立図書館 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●15:00～15:30 ●無料 福井市立図書館 ☎0776-20-5000</p> <p>1/10(日) 福井市立桜木図書館 おはなし室 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●14:00～14:30 ●無料(先着9名) 福井市立桜木図書館 ☎0776-20-1530</p> <p>1/16(土) 福井市立図書館 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●15:00～15:30 ●無料 福井市立図書館 ☎0776-20-5000</p> <p>1/16(土)、2/20(土)、3/20(土・祝) 福井市立桜木図書館 おはなし室 ストーリーテリングの会 ●11:00～11:30 ●無料(先着9名) 福井市立桜木図書館 ☎0776-20-1530</p> <p>1/17(日) 福井市立桜木図書館 おはなし室 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●14:00～14:30 ●無料(先着9名) 福井市立桜木図書館 ☎0776-20-1530</p> <p>1/23(土) 福井市立図書館 えほんとかみしばいのよみきかせ会 ●15:00～15:30 ●無料 福井市立図書館 ☎0776-20-5000</p>
---	---	--	---

<p>1/3(日)～2/14(日) 福井県立歴史博物館 特別展示室 企画展 越前・若狭 願いの形 ●9:00～17:00 ●一般100円 70歳以上の方・高校生以下無料 福井県立歴史博物館 ☎0776-22-4675</p> <p>1/3(日)～2/28(日) 福井県立歴史博物館 エントランスロビー 写真展 「福井駅前」メモリアル ～明治から令和へ～ ●9:00～17:00 ●一般100円 70歳以上の方・高校生以下無料 福井県立歴史博物館 ☎0776-22-4675</p> <p>1/19(火)～3/7(日) 福井市立郷土歴史博物館 館蔵品ギャラリー 平泉澄博士の国史研究 ●9:00～17:00(～2/28) 9:00～19:00(3/1～) ●220円 福井市立郷土歴史博物館 ☎0776-21-0489</p> <p>1/28(木)～3/16(火) 福井市立郷土歴史博物館 松平家史料展示室 史料からみる福井の災害 ●9:00～17:00(～2/28) 9:00～19:00(3/1～) ●220円 福井市立郷土歴史博物館 ☎0776-21-0489</p> <p>3/1(月)～4/28(木) 福井県立歴史博物館 エントランスロビー 写真展 さくら咲く・ふくいの春 ～絵葉書でふりかえる～ ●9:00～17:00 ●一般100円 70歳以上の方・高校生以下無料 福井県立歴史博物館 ☎0776-22-4675</p> <p>3/20(土・祝)～5/5(水・祝) 福井市立郷土歴史博物館 企画展示室 特別展 「グリフィスが見た明治の福井 ～The Mikado's Empire～」 ●9:00～19:00 ●一般700円、高校生500円 福井市立郷土歴史博物館 ☎0776-21-0489</p>	<p>演劇・演芸 Theatrical&Entertainment</p> <p>1/30(土) パレオ若狭 音楽ホール 新春!上方落語会 ●14:00開演 ●一般2,000円、高校生以下1,000円 パレオ若狭チケットカウンター ☎0770-62-2506</p> <p>2/14(日) 小浜市文化会館 大ホール 「はばたけ未来へ」 1部 プリリアントコンサート 2部 市民ミュージカル「海幸彦 山幸彦」 ●13:30開演 ●大人1,500円、小中学生1,000円 上記ペア券2,000円 小浜市文化会館 ☎0770-53-9700</p> <p>2/20(土) 坂井市みくに市民センター内 みくに未来ホール おもっしえ・ザ・寄席 presents 林家正蔵独演会 ●14:30開演 ●全席指定/2,000円 みくに未来ホール ☎0776-82-7200</p> <p>歴史 History</p> <p>12/3(木)～1/24(日) 福井市立郷土歴史博物館 松平家史料展示室 福井藩の年中行事と 武家のくらし ●9:00～17:00 ●220円 福井市立郷土歴史博物館 ☎0776-21-0489</p> <p>12/15(火)～3/14(日) 若狭歴史博物館 ちよつとむかしのくらし展 ～洗濯篇 ●9:00～17:00(入館は16:30まで) ●常設展示料金/一般310円、高校生以下・ 70歳以上無料 若狭歴史博物館 ☎0770-56-0525</p> <p>12/19(土)～2/14(日) 福井市立郷土歴史博物館 企画展示室 企画展 「明智光秀と越前一階伏のときー」 ●9:00～17:00 ●220円 福井市立郷土歴史博物館 ☎0776-21-0489</p>	<p>音楽・舞踊 Music&Dance</p> <p>1/16(土) 坂井市みくに市民センター内 みくに未来ホール 押尾コータロー アコースティックギターコンサート ●16:30開演 ●全席指定/一般6,000円 みくに未来ホール ☎0776-82-7200</p> <p>1/22(金) 小浜市文化会館 大ホール ニューイヤークンサート 瀬戸和夫トリオ ●19:00開演 ●全席指定/1,000円 小浜市文化会館 ☎0770-53-9700</p> <p>1/29(金) 坂井市みくに市民センター内 みくに未来ホール 八神純子 キミの街へ～ Here We Go! ●19:00開演 ●全席指定/一般5,500円 みくに未来ホール ☎0776-82-7200</p> <p>2/6(土) 坂井市みくに市民センター内 みくに未来ホール 0歳からのクラシックコンサートvol.7 ●10:30開演 ●全席指定/500円 みくに未来ホール ☎0776-82-7200</p> <p>2/28(日) パレオ若狭 音楽ホール OEK室内楽コンサート 殺陣と音楽のコラボレーション ●15:00開演 ●一般2,000円、高校生以下1,000円 パレオ若狭チケットカウンター ☎0770-62-2506</p> <p>3/13(土) 越前市文化センター 大ホール 宝くじおしゃべり音楽館 思い出のスクリーンミュージック ●14:00開演 ●全席指定/一般2,500円、学生1,500円 ※宝くじの助成により特別料金になっております 越前市文化センター ☎0778-23-5057</p> <p>3/14(日) パレオ若狭 音楽ホール 山田姉妹ソプラノデュオコンサート ●14:00開演 ●一般2,000円、高校生以下1,000円 パレオ若狭チケットカウンター ☎0770-62-2506</p>	<p>絵画・書道 Art&Calligraphy</p> <p>開催中～3/9(火) 福井市権賢堂記念文学館 企画展「花に寄せて」 ●9:00～17:15(入館は16:45まで) ●100円、中学生以下・70歳以上・障がい者手帳を お持ちの方無料 福井市権賢堂記念文学館 ☎0776-35-1110</p> <p>2/5(金)～2/7(日) 鯖江市まなべの館 展示ホール1・2 福井県独立書展 ●9:00～17:00(最終日は16:00まで) ●無料 鯖江市まなべの館 ☎0778-51-5999</p> <p>2/19(金)～2/21(日) 鯖江市まなべの館 展示ホール1・2 第85回県かきぞめ読書大会 優秀作品展 鯖江展 ●9:00～17:00 ●無料 鯖江市まなべの館 ☎0778-51-5999</p> <p>3/12(金)～3/21(日) 鯖江市まなべの館 展示ホール2 蟻塚知都・福田裕理二人展 歪んで消エテ ●9:00～17:00(最終日は15:00まで) ●無料 鯖江市まなべの館 ☎0778-51-5999</p> <p>工芸・写真 Craft&Photograph</p> <p>開催中～2/24(水) 福井市愛宕坂茶道美術館 企画展「福を呼ぶ茶道具」 ●9:00～17:15(入館は16:45まで) ●100円、中学生以下・70歳以上・障がい者手帳を お持ちの方無料 福井市愛宕坂茶道美術館 ☎0776-33-3933</p> <p>12/18(金)～3/2(火) 敦賀市立博物館 刀剣資料公開展 ●10:00～17:00 ●一般300円、団体250円、高校生以下無料 敦賀市立博物館 ☎0770-25-7033</p> <p>3/12(金)～3/14(日) 鯖江市まなべの館 展示ホール1 石田純作品展 ●9:00～17:00(最終日は16:00まで) ●無料 鯖江市まなべの館 ☎0778-51-5999</p>
--	--	--	---

編集後記

ここ9カ月間、外国人演奏家のみ
なさんをお迎えできていません。しか
し今、長い自粛からようやく動き出
せるようになった国内の演奏家たち
が、実に頼もしい演奏を繰り広げ
ています。

9月は関西フィルハーモニー管弦楽
団が、8カ月ぶりのオーケストラサウ
ンドを響かせてくれました。お客様
は50%制限の満席。この模様は、年
明け3月にBSテレビ東京で放映予
定です。越のルビーアーティスト3人
による「私のベートロヴェン」は、50%
で足りず追加した公演も売り切れる好
評ぶり。「3人の個性がそれぞれの曲
に合っていて素晴らしい」と大きな評
判を戴きました。

つい先日、「ベートロヴェンの室内楽」
公演は、シチュウットガルトからの演
奏家が来日できず、公演中止を決め
ていました。しかし、「内容が一部変
わってしまったとしても公演を実現す
ることはできませんか。やっぱり、僕
たちはやれることはやる努力をしない
といけないと思うのです」ご協賛社の
会長さんの一言で一転、国内演奏家
で実現の運びに。当日おいでになれな
かった方のために、この公演は配信で
もお届けします。

みなさまに安心してご来館戴ける
ようにと整えた対策指針は、全国か
ら注目されています。近々研修会で
発表される予定です。

デジタル版

いつでも、どこでも

福井新聞

D+刊

タブレット、PC、スマートフォン

福井新聞社

FBC

福井放送株式会社

代表取締役会長 小藤幸男
代表取締役社長 池内昭彦